



小さな  
集落ですが  
まとまりは  
一番!!

熊本県西原村 大切畑地区



平成最後のどんどや(平成31年1月20日)

# もくじ

はじめに	1
大切畑は、こんなところ	2
大切畑のここが好き	4
集落の人口、世帯数、年齢構成	6
集落の組織	8
集落のルール	10
集落の催事	12
大切畑の暮らし	16
大切畑のこれから	20
取り組みのアイデア	22
将来イメージ	24

# はじめに

壊滅的な被害を受けた熊本地震から3年が経過し、大切畑では、復興に向けた本格的な工事が進んでいます。

地震当時、住民同士が助け合い、一人の犠牲者も出さなかったことから『奇跡の集落』と呼ばれた大切畑。再建を予定している家は半数近く。

どうしたら、大切畑に人を呼びこめるのか。

まずは、もっと多くの人に大切畑のことを知ってもらって、大切畑に興味をもってもらえたら、という思いでこの冊子をつくりました。

# 大切畑は、こんなところ

## 位置、交通アクセス

- ・大切畑には熊本空港から東へ約7km、車で15分程度の阿蘇外輪の依山の西麓に位置しています。
- ・大切畑ダムや依山交流館「萌の里」にも近く、南阿蘇やすらぎロード（県道28号）の大切畑大橋からは集落の全景を眺めることができます。





# 大切畑のここが好き

## 坂田 明雄さん



- 大切畑での歩みと将来への思い  
私は、大切畑に生まれて72年になります。現在農業をやっております。のどかで暮しやすい集落でしたが、地震で一変して歴代の先祖も経験しなかった事を経験しました。しかし、これにめげず頑張って家を建てるつもりです。
- 大切畑の自慢  
西側を見わたせば空港まで見える景色の良い所です。

## 山本 幸雄さん



- 自己紹介  
野菜作り(家庭菜園)  
米作り  
日用大工
- 大切畑の自慢  
水がおいしいので、おいしい野菜、米ができる。

## 坂本 英子さん



- 大切畑での歩みと思い  
30年以上会社員として働いてきました。今はほそぼそと田・畑を守っています。(主人は10年前に他界)子供達はそれぞれ市内で家庭を持って暮しています。見識が深く働き者の祖父、だれに対しても優しく祖母、地域の皆さんに助けられながら懸命に田・畑を守ってきた父・母。地域のつながりのために力を惜しまなかった夫。暖かく見守って下さった大切畑の多くのみなさんの思いとぬくもりをつないでいきたいものです。
- 大切畑の自慢  
20年程前にも社会福祉モデル地区の指定を受けるなど、いろんな取り組みを通して地域のつながりが大切にされてきました。たまたま熊本地震当日(4/16)も集落全員が集まって親睦会と敬老会を計画していました。そのため前日にお菓子や飲み物など買って準備していたので、地震が起きてしまった時、みんなで分け合っ食べる事ができました。これも地域のつながりを大切に出来たおかげだと思えてなりません。

## 大谷 信博さん



- 自己紹介  
山西小学校、西原中学校卒業。  
熊本市の高校卒業後、神奈川県横浜市の大学に入り、そのまま40年強神奈川県住まい。2009年に大切畑に戻り、現在に至る。子供の頃、皆一緒に遊んだことが今の大切畑のまとまりの素だと思っている。
- 大切畑の自慢  
空気・水・食べ物、皆うまい。  
子供はみんな育て、年寄りもみんなで面倒を見る気風が残っている。  
ワラビ、ゼンマイ、山ウド、笹ナバ、クレソンなど、山菜が豊富です。

## 吉田 昭一さん



- 大切畑の自慢  
環境が良い。景色が良い。  
集落の方達が親切で、思いやりもあり、住む環境が最高です。

## 大谷 光明さん



- 大切畑の自慢と将来への思い  
大切畑集落は先祖代々数百年以上続いて来た平穏で向こう3軒絆の深い暮しを営んで来ましたが、今回の熊本地震により集落全体が壊滅状態に陥り、これに負けず協助・協同して復興に向けて頑張るしか道は開けない。

## 大谷 哲郎さん



- 大切畑への思い  
家を建てて11年で震災に合い、家を無くして皆が集まる田舎(家)が無くなったが、子供達は、父さん、母さんがいるところが田舎だからと言ってくれる。
- 大切畑の自慢  
とにかく、水がいい。塩井社から大切畑みんなまで直接引いた水道水が自慢。

## 坂田 哲也さん



- 自己紹介  
現在、会社を退職し、毎日自分の好きな農業やっています。  
また、店で使う米やいろんな野菜づくりに挑戦し、第二の人生を謳歌しています。
- 大切畑の自慢  
私が生まれ育った大切畑集落では、一年を通して、いろんな行事が行なわれています。先祖祭り、親睦会、夏祭りなど、集落内の人とのコミュニケーションを取っています。そして、田舎の良さ。困った事があれば皆んなで助け合う。また、目と目が合ったら必ず挨拶を交わします。集落全体が一つの家族みたいな所。そんな集落かとても気に入っています。

## 中村 孝次さん



- 大切畑の自慢  
春は大切畑墓地公園で、朝方、ホトギスが鳴いていました。ホーホケキョーを聞きながら、朝は目覚めます。  
自然が豊かです。大切畑に帰り、庭木などを眺めるとホッとします。  
ホッと生き返る所が、大切畑です。

# 集落の人口、世帯数、年齢構成

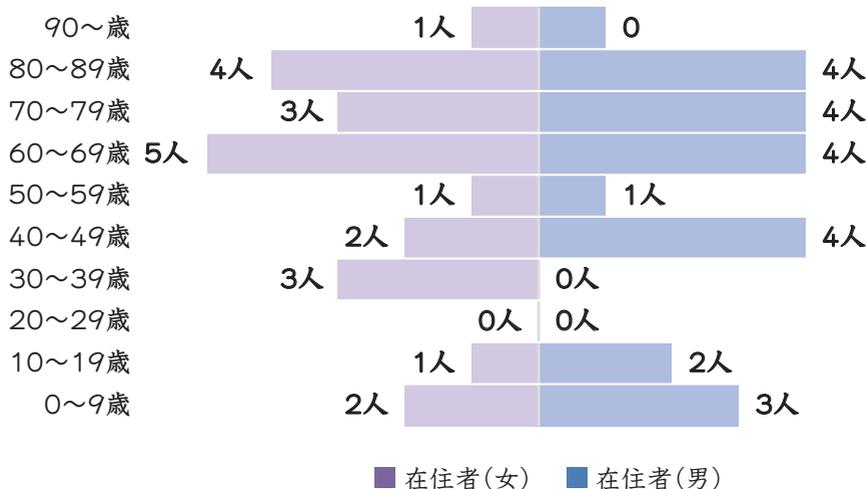
- ・大切畑の人口は 44 人※、世帯数は 19 世帯※です。
- ・年齢別人口では 60歳代が最も多く、次いで80歳代、70歳代の順です。
- ・20 歳代はいません。
- ・高齢化率 (65 歳以上) は 50%です。
- ・0~14歳の比率は16%で、畑地区(17%)に次ぐ値です。

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

## 年齢構成別人口 (大切畑)

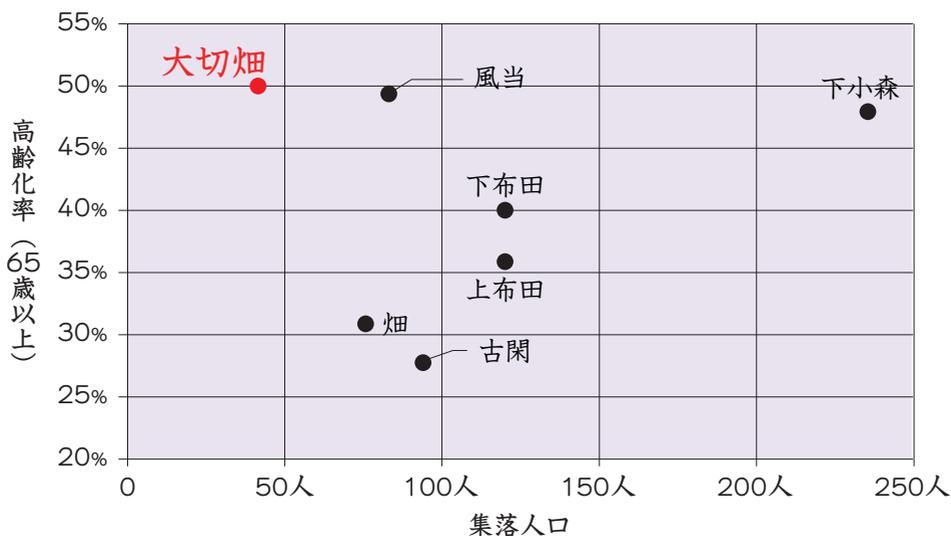
0 歳～ 14 歳	15 歳～ 64 歳	65 歳～	総人口	高齢化率 (65 歳以上)	0～14 歳 比率
7	15	22	44	50%	16%

## 大切畑人口ピラミッド

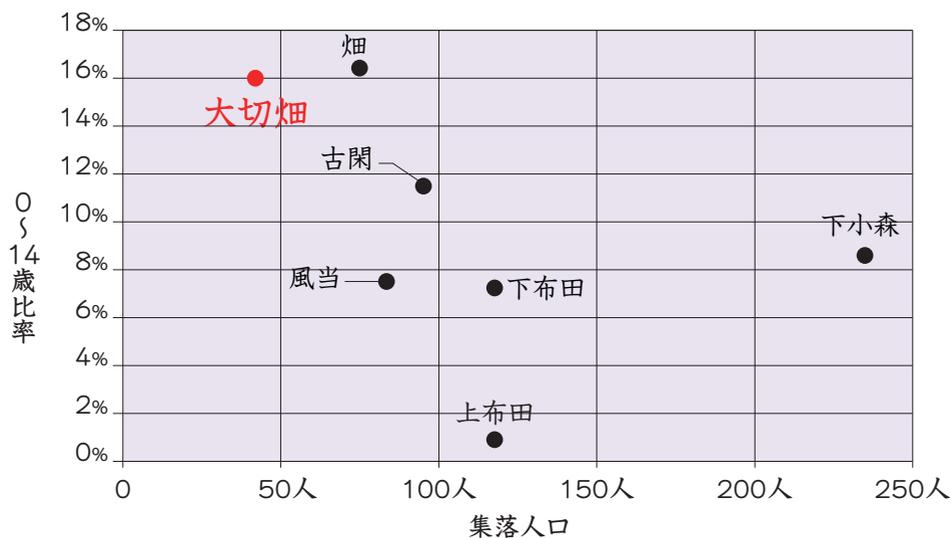


平成 31 年 3 月 31 日現在 (西原村)

## 集落人口と高齢化率（65歳以上）



## 集落人口と0～14歳比率



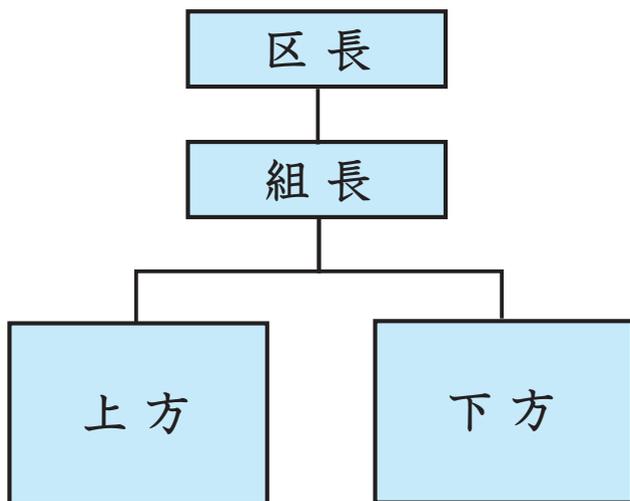
平成 31 年 3 月 31 日現在 (西原村)

# 集落の組織

平成 31 年 3 月時点

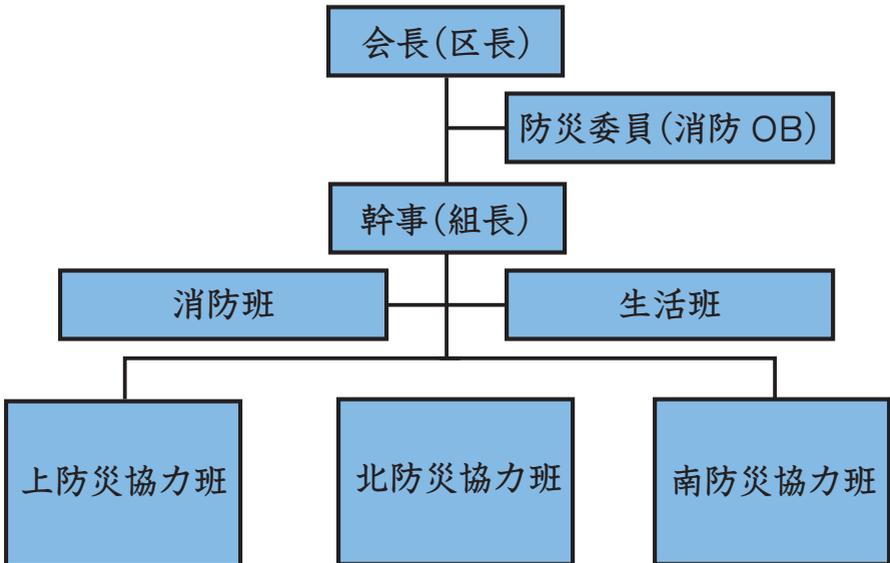
## ●自治組織

- ・ 大切畑には上方と下方の 2 つの組があります。
- ・ 集落の主な役員は、区長、組長です。  
任期は基本的に 1 年で、互選で決めます。
- ・ 区長と組長は、平成 30 年までは別々の組から選ばれていました。



## ●自治消防組織

- ・大切畑には自治消防組織があります。
- ・主な役員は、会長、防災委員、幹事、班長です。任期は基本的に1年で、互選で決めます。
- ・2年に1回の防災訓練の時に避難訓練も行います。



※大切畑の避難場所  
(上)基地前

(北)公民館前

(南)猿田彦神社前

# 集落のルール

## ●区費

- ・区費は集落の行事運営や集会所の管理など自治活動に使われるお金です。
- ・お住まいの方は自治組織に所属することとなります。  
区費の支払いはお住まい方皆様をお願いしております。

	年費用	用途
区費	各家庭から 1,500 円	自治会の運営
部落費	各家庭から 5,000 円	自治会の運営
水道費	家や小屋があれば 5,000 円 / 建物 + メーター分	水道の 敷設・修繕等
消防費	家や小屋があれば 3,000 円 / 建物	消防施設の 管理
先祖祭費	各家庭から 500 円 / 回 × 2 回 (初寄り、先祖祭り)	先祖祭の 運営

## ● 区役

- ・ 区役は集落の全員（各家の代表）が参加して行う協働作業のことです。
- ・ 区役は「自分たちのことは自分たちでやろう」という大切な自治活動です。
- ・ 区役には 道区役のように定期的に行うものと、必要があった場合に随時行うものがあります。
- ・ 「頭買い」（拠出金）は高齢者世帯や病気等で区役ができない世帯が対象です。（13、000 円 / 年）

## ● コウジュウ

- ・ 「コウジュウ」と呼ばれる組があり、冠婚葬祭の手伝いや宴会の賄いを手伝います。



平成 30 年 4 月 30 日 大切畑起工式（滑動崩落対策工）

# 集落の催事

## ■ 初寄り

- ・1月3日
- ・前年の行事会計報告
- ・集金（消防費、区費、部落費、水道費、先祖祭）  
ほか



## ■ 女性だけの先祖祭り

1月

2月

3月

## ■ どんとや

- ・第2または第3日曜



## ■ 出初式

- ・第2または第3日曜





## ■敬老会・親睦会

### 山焼き (原野一斉火入れ)

- ・第1日曜
- ・担当の区域がある。

## ■道区役 (春草刈り)

- ・品評会あり

3月

4月

5月

## ■鯉のぼり

- ・大切畑大橋に飾り付け
- ・第2または第3日曜日
- ・現在は行われていない。

## ■馬の子祝い

- ・かつては行なわれていた。
- ・集落の全家庭が上方・下方で、それぞれ順番に一つの家に集まって親睦を深めた集落最大級の行事。



# 集落の催事

■先祖祭り・夏祭り  
・8月16日

■七夕  
・各戸に短冊を配布

6月

7月

8月

9月

■道区役 (盆前草刈り)  
・各家代表が参加

■道区役  
・品評会あり





■ **子ども会の行事**  
・かつては行われていた。

■ **忘年会**  
・12月中旬

10月

11月

12月

(秋草刈り)



■ **いっちょやる会**  
・過去に1回だけ実施。

# 大切畑の暮らし(1)

## ●水道

- ・大切畑には水道組合があり、塩井社を水源としたきれいな水が各家庭まで届けられています。
- ・水道組合は住民の皆様からの料金で運営されています。

## ●ゴミ

- ・ゴミの収集日は、ゴミの種類によって指定されています。
- ・ゴミを出す際は必ず指定されたゴミ袋を使用し、指定された場所に出します。

## ●買物

- ・村の中にはいくつか商店があり、簡単な買いものはそこで済ませることができます。
- ・最近では車で大きな店舗のある大津町まで買い物に行く人も多いです。

## ●無線

- ・役場基地局から放送する緊急放送や一般行政放送を、各地区に設置した屋外拡声局と、各家庭や、事業所、公共施設等の戸別受信機で受信

- するシステムがあります。
- ・集落からの案内も無線でお知らせします。
  - ・無線の受信機は村から無償で貸与してもらえます。  
(村の総務課にお尋ねください)

## ● 保育園

- ・西原村立にしはら保育園と私立阿蘇こうのとり保育園があります。
- ・両保育園では通常の保育時間とは別に、仕事などで都合がつかない保護者のために延長保育を行っています。

## ● 学校

- ・西原村には山西小学校と河原小学校があり、どちらの学校にも通うことができます。大切畑に近い山西小学校までは約 1.5 km、徒歩 20～30 分の距離です。
- ・中学校は村内唯一の西原中学校になります。西原中学校までは約 3kmあり、自転車通学が基本です。
- ・村内に高校はありません。通学区域は県北学区になりますが、最近では校区に縛られず様々な高校に通学する生徒が多いです。一番近い公立普通科高校は大津高校になります。バスや電車などの公共交通を利用して通学する学生が多いですが原付自転車で通学する学生もいます。

## 大切畑の暮らし(2)

### ● 病院・診療所、歯科

- ・村内には病院が2件(内科、小児科等)と歯医者さんが2件あります。
- ・車で30分程度の距離には総合病院もあります。まずは、かかりつけの病院に行って、状況に応じて大きな総合病院に行く方が多いです。

### ● 介護サービス

- ・通所ができる施設として、社団福祉法人西原村社会福祉協議会(のぎく荘)、くまもと長寿園そよ風、社会福祉法人みどりの館が村内にあります。
- ・みどりの館は複合施設で様々な介護状態に対応したサービスを受けることができ、入所もできます。
- ・くまもと長寿園そよ風も入所ができる施設です。ほかに入所できる施設として、にしはら翔裕園があります。
- ・介護の予防サービスとして西原すみれの会、西原ひまわりの会があります。西原村独自の基本チェックリストに該当すれば、だれでも利用ができます。
- ・こちらのサービスは村の負担で状況に応じて1割負担で利用できるサービスです。

- ・村内にはリハビリを兼ねた施設がないために、リハビリが必要な方は村外に出て通っています。
- ・大津、益城、菊陽、健軍等他の地域の医療サービスに委託しています。

## ●パート

- ・村内は勿論、熊本市中心部へも車で30分～40分と近いため、熊本市や隣接する大津町などで働かれる方も多くいらっしゃいます。

# 大切畑のこれから

編集委員が考える大切畑の『気がかり』なことと、  
そうならないための『取り組みのアイデア』です。

## 気がかり

### 区役の継続

- 人が減って  
できなくなる

### 役員をやる人

- かけもち、今が精一杯
- 役員ばかりすることになる
- 子どもにも影響

大切畑といえ  
ば  
という何か  
がほしい

### 外から来る人がいるのか

- 地域に溶け込めるのか
- 地域はどう感じているのか
- 新しく入ってくる人たちとの  
コミュニケーションの取り方

## 空き地

- 空いた土地が荒れ放題になるのでは？

## 外に出た人と集落の関わり

- 地区外に出ている人たちとのコミュニケーション
- 集落を出た人との縁が切れてしまう
- 子や孫が大切畑とどうかかわるか

## 若者が集まる場所がない

- 消防詰め所が無くなって、若者が集まる場所がなくなった

## 30年後の未来が描けない

- 30年後の未来が想像し難い
- 20歳代が大切畑にどれだけ関わる可能性があるのか

## 水道組合の維持

- 費用、労力の面から維持管理ができなくなる



# 取り組みのアイデア



外から来る人に  
選ばれる  
大切畑にしよう

大切畑の  
シンボルをつくろう  
復活させよう

子どもが集まる  
イベントをやるう

- 子ども会の復活
- 夏祭り



土地の管理をしよう

- 草刈り
- 更地が目立たない工夫



子どもが集まる  
場所をつくろう

- 『蛍の里』の復活
- 川遊びができる場所

若者が集まる  
場所をつくろう

- 公民館の中に 詰所に  
代わる場所 がほしい

区役の負担を減らそう

- どんな方法があるか考えよう

役員の任期を  
見直そう

- 任期を長くする  
(2~3年)

水道の維持・管理方法を再検証しよう

- 現方式と他の方法との比較

## 将来イメージ

- ・放課後、たくさんの子どもたちが大切畑に遊びに来ます。
- ・週末には息子夫婦が孫を連れておじいちゃん、おばあちゃんに会いに来ます。
- ・新しい住民も加わって、大切畑はかつての賑わいを取り戻しています。



注) 編集委員で作成した『将来イメージ(例)のイラスト案』



雪の日の大切畑（撮影：大谷信博さん）

小さな集落ですが まとまりが一番！！  
熊本県西原村 大切畑地区

発行日 平成 31 年 4 月

発 行 西原村  
熊本県阿蘇郡西原村大字小森 3259

編 集 大切畑編集チーム  
PCKK・都市技術・地域計画連合設計共同体